

令和3年8月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和3年8月20日（金）午後1時30分～午後3時15分

2 場 所 教育センター セミナーホール

3 出席者〔教育長〕大岩幹夫

〔委員〕吉本理(教育長職務代理者)、寺本彰、宮本陽子、森田理恵

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、江原勝美学校教育部長、市川雅美教育総務部次長、関根祐一学校教育部次長兼学校教育課長、吉田謙治社会教育担当参事兼社会教育課長、肥沼位昌保健給食担当参事兼保健給食課長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、糟谷苗美教育総務課長、大島光治教育総務課主幹兼教育企画室長、遠山秀仁教育施設課長、廣谷貴紀スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、根本文化財保護課主幹兼埋蔵文化財調査センター所長、酒井忠夫生涯学習推進センター所長、伊東真吾学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、徳増由美子教育センター主幹兼教育センター副所長

〔書記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主査

4 会議の傍聴者 なし

5 開 会 清水委員は所用により欠席。

本日の議案は、議案第13号、議案第14号及び追加議案第15号の3件。また、協議事項が1件。

なお、議案第15号、報告事項のうち「県費負担教職員の人事に関する内申にかかる教育長臨時代理について」及び「所沢市教育委員会職員（管理職）の人事異動にかかる教育長臨時代理について」は人事に関する議案及び報告のため、また、報告事項のうち「新型コロナウイルス感染症への対応について」の一部及び「市内小学校での事案について」は個人に関する情報が含まれ、学校及び個人が特定される恐れがあるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7

項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議および報告されることに決定した。

議事の進行上、非公開の議事及び報告は、協議・報告事項の後に行った。

6 議題

議案第13号 令和3年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について

資料に則り、大島教育総務課主幹から以下のとおり説明がなされた。

7月の教育委員会会議にて、委員からいただいた指摘を踏まえ、主に4点修正を行った。なお、修正を反映させることが難しかったものについては、次年度以降の検討課題とする。

1点目は、8ページ中段、「小学校外国語活動推進事業」について、決算額の大部分を人件費が占めるため、「小学校に外国語支援員16名を派遣し、小学校の外国語活動・外国語科の支援を行いました。」を追記した。

2点目は、27ページ上段「施策の内容と今後の方向」の5行目に「関係部署と連携し」を追記した。これは「安全な学校づくり」について、関係部署と連携しながら進めていく必要性を強調したものである。

3点目は、74ページの「(1)点検評価報告書全般について」中の「混乱が生じたものと思われる」と記載していたものを、誤解を招かない表現とするために、「計画していた教育活動の変更や縮小等を余儀なくされたものと思われる」と修正した。

4点目は、80ページ その他の活動内容に、体育祭と所沢市成人のつどいを追加した。

報告書の今後の取扱いは、本案議決後、8月24日開催の政策会議において各部へ報告、その後、所沢市議会への報告および所沢市のホームページ上での公表を行う予定である。

以下、質疑

(寺本委員)

報告書の80ページに、教育費決算額の市民一人あたりの金額や、小学校費およ

び中学校費決算額の児童生徒一人あたりの金額が掲載されています。所沢市の過去数年間の推移や県内他自治体との比較について、教えていただければと思います。

(大島教育総務課主幹)

資料を持ち合わせておりませんので、後日、説明させていただきます。

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第14号 令和4年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について

資料に則り、関根学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

「所沢市における教科用図書採択基本方針」に基づき、令和4年度使用特別支援学級用教科用図書に関して、市内小中学校3校から「選定理由書」が提出された。特別支援学級で使用する教科用図書については、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学大臣による検定済教科書以外の「一般図書」を使用することができることとなっている。また、この「一般図書」については、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害の状況及び発達の段階に適合した教科用図書を毎年採択することができることとなっているため、提出された「選定理由書」による教科用図書の採択について議決をお願いするものである。

なお、3校以外の特別支援学級については、「一般図書」利用の希望がなかったため、文部科学大臣による検定済教科書を使用する。

以下、質疑

(宮本委員)

令和4年度の特別支援学級で使用する教科書ということですが、今後さらに他の学校から要望があがってくることもあるのでしょうか。

(伊東学校教育課主幹)

昨年度は年度途中で児童の転校があったため、転入校から新たな要望が追加あがってきましたが、そのような事情が無ければ基本的にはこのタイミングで採択を行うものになります。

(森田委員)

担当の先生が在籍する個々の児童生徒の状況を見て決めてくださるということですが、子どもたちが興味を持って学べる分かりやすい教科用図書であると感じ

ました。

(寺本委員)

一般図書の利用について、北小学校からはこれまでも継続して要望が出ていたと思いますが、ここで上新井小学校や南陵中学校からも要望が出てきたことは良かったと思います。特別支援学級を担当されている教員が児童生徒のために必要に応じて一般図書を使用することについて遠慮することがないよう、このような情報を他の小中学校にも水平展開してもらいたいと要望します。

(吉本委員)

このような一般図書を教科書として選定した場合に、年間を通じて一冊全部を活用するのか一部のみを活用するのかどちらでしょうか。

(伊東学校教育課主幹)

一人一人の状態が異なるので一概には言えませんが、それぞれの子ども状態を踏まえながら指導計画に沿って活用していくものです。

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、可決された。

7 協議事項

所沢第二幼稚園の今後の見通しについて

資料に則り、関根学校教育部次長から、以下のとおり説明がなされた。

所沢第二幼稚園の現状について、令和3年度の園児数は、4歳児となる年少クラスは7人、5歳児となる年長クラスは10人、合計17人となっている。また、平成21年1月の幼稚園運営協議会において「廃園が望ましい」との答申があり、平成30年7月の教育委員会会議では、廃園の方向性はやむを得ないが廃園の時期については廃園後の施設活用など適切な措置を講じたうえで決定するものとする議決がなされた。なお、現在、所沢第二幼稚園の運営費用は年間約4,400万円であり、園児1人あたりに換算すると約260万円となっている。単純比較はできないが、市が私立幼稚園に支出している額は園児1人あたり約7万3,000円である。

運営を継続するにあたっての効果と課題について、現状での運営を継続する場合の効果としては、幼稚園の教育要領に則った地域に根差した教育活動を展開できる

ことがあげられる。一方で課題としては、個別支援を要する園児への対応が増えてきていること、幼稚園新制度への移行が求められ延長保育を含めた幼児教育と保育の一体化への対応を要することから運営体制の見直しが必要となることがあげられる。また、集団性・協働性を育む適正人数についても課題があり、令和4年度の園児数の見込みは年少・年長合計で14人から20人と見込まれているが、ある研究では4歳から5歳の子どもにおいては20人以上、特に5歳児においては25人から30人程度が適正であると示されているデータがある。

次に、通園範囲の条件を緩和する場合、効果としては適正人数に近づける可能性がある。一方で課題としては、個別支援対応の高まりにもとづく幼稚園教諭定数の加配が想定されること、新制度への対応の必要性は継続となること、地域に根差した教育活動という特長が薄まる可能性があること、人数が増えることで私立幼稚園の運営を圧迫する可能性があることがあげられる。

また、幼稚園の役割を変えて運営する場合、家庭のニーズに応じていく状況が生まれるという効果がある一方で、まず、園の経営方針を一新する必要性があり、幼稚園教諭の人員配置や環境整備のほか、新制度への対応の必要性、庁内関係部署との調整を要することや私立幼稚園への影響といった課題が残る。

これらを踏まえて、所沢第二幼稚園の今後について協議をお願いしたい。

以下、質疑

(寺本委員)

6月定例会において園児募集に関する協議を行った際にも発言しましたが、通園範囲の条件を無くすのではなく多少緩やかにしてみるのがいいのではないかと感じています。公立幼稚園が1園のみのため地理的に不公平という考えもあるかと思うが、1園しかない以上やむを得ないのではないかと思います。

また、個別支援対応を進めるかについては、現在通っている園児の保護者の考えもあるかと思いますので、すぐに積極的に対応するというのではなく、まずは現在の所沢第二幼稚園の恵まれた環境を活かすのがいいと思います。園児の適正規模についても、すぐに各クラス25人から30人を目指すのではなく、地方では少人数で運営している幼稚園もたくさんあると思いますので、まずは通園条件を少し変更してみるのがよいのではないかと考えます。

(宮本委員)

6月定例会の園児募集にかかる協議の際にもお伝えしたかと思いますが、公共交通機関の利用など通園条件の変更を検討してもよいのではないかとことや、10年前の答申があった時と現在では所沢第二幼稚園の役割や存在意義が変わってきているのではないかと考えています。時間をかけてさまざまな議論を経たうえでの答申であると思いますが、その一方で地域として大切にしてきた場所でもあるかと思しますので、今後も引き続き地域の理解を得られるよう努力をしていかなければならないと思っています。

また、費用に関しては、私立への補助金に人件費など全ての運営費用が含まれているのかという点も考慮しなければならないと思いますので、慎重に取り扱うようにしていただきたいと感じました。

(寺本委員)

現状の通園範囲で第二幼稚園を卒園した子どもたちは、近隣の荒幡小学校・山口小学校・泉小学校に通っていると思います。進学する際に幼稚園での状況などを各小学校へ連絡していると思いますが、反対に第二幼稚園を卒園した子どもたちの様子を小学校からフィードバックされたり、第二幼稚園への要望が届くということはあるのでしょうか。

(関根学校教育部次長)

荒幡小学校は近隣にあるため緊密な連携ができていますし、泉小学校や山口小学校についても一定の連携は図られています。また、幼稚園の運営については見学なども行われていますが、小学校から幼稚園への要望の有無については確認できておりません。

(吉本委員)

行政において、歳入である税金を活用して市民にサービスを提供するという意味では平等性が大前提であるかと思いますが、現状の第二幼稚園の状況ではなかなかその前提が満たされていないのではないかと考えています。他の行政サービスと異なりアンバランスな部分があると思いますし、確かに地方では一人の子どものために学校の分校があり複数の教員が配置されるということもありますが、所沢市は規模としても地理的にもそういった状況では無いと思います。

所沢第二幼稚園の今後については、市長がどのように考えているのか、あるいは市議会や監査委員の考えというものもあるかと思えます。教育委員会という組織としては、教育にかかる行政サービスの一つという視点で第二幼稚園の今後のあり方を判断していきたいと思っています。

(宮本委員)

答申の中で私立幼稚園との連携に関する提言があったかと思いますが、現状で私立幼稚園と第二幼稚園、あるいは私立幼稚園と市内小学校の連携や情報交換の場はあるのでしょうか。

(関根学校教育部次長)

小学校と幼稚園の連携につきましては、以前からではありますが幼児教育振興協議会という組織があり、小学校区の幼稚園および保育園との連携を図っており、保育の状況や小学校の授業を見学し、より良い保育、より良い幼稚園教育、小学校の教育活動、特に小学校1年生の導入部分等について意見交換を行っております。

(宮本委員)

就学時前教育としては公立と私立の幼稚園があり、また保育園も同様に担っていると思いますが、所沢市として公立の幼稚園があることで幼稚園・小学校・中学校の縦のつながりをアピールできると思っています。現在は公立幼稚園が1園しかないので、第二幼稚園と私立幼稚園が積極的に情報交換できればより良い就学時前教育につながると思っていますので、閉園の話もありますが果たして公立の就学時前教育を手放してしまってもいいのかという思いがあります。

(大岩教育長)

平成30年度の教育委員会会議で廃園の方向性は決まったものの、時期については廃園後の施設活用など適切な措置を講じたうえで決定するものとなっており、現時点ではなかなか廃園後の施設活用が決まらず、毎年、園児募集を行っているという現状があります。私立幼稚園への影響や子どもの人数の推移等もありますし、時間がかかることではありますが、今後の教育委員会会議において施設活用も含めて引き続き第二幼稚園の今後について検討を進めていきたいと思っています。

8 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の8月から11月までの主な行事予定について（教育総務課）

令和3年度運動会・体育祭 開催について（スポーツ振興課）

第32回所沢シティマラソン大会の開催中止について（スポーツ振興課）

以下、質疑

（吉本委員）

後援等名義使用許可の「第59回所沢母親大会」について、他の事業の会場が市役所や市民文化センター、市民体育館など公的な施設で実施されるのに対し、会場が埼玉土建所沢支部会館とありますが、これまでも継続して教育委員会の後援名義を許可しているのでしょうか。

（吉田社会教育担当参事）

毎年開催されている事業ではありませんが、後援名義の申請があり、内容等を精査して後援名義使用許可に関する取扱要項の許可基準に合致した場合に認めているものでございます。

新型コロナウイルス感染症への対応について（教育総務部・学校教育部）

以下、質疑

（吉本委員）

小中学校について、現在感染が広まっている変異株のデルタ株は非常に感染力が強く、これまでより子ども同士で感染する可能性が高いと思いますし、市内の感染者数もかなり増えてきています。このような状況の中で2学期を始めるのかどうか、始めたとしてタブレットを活用した市独自のリモートによる教育活動ができないのか、現時点で検討されているのでしょうか。

（関根学校教育部次長）

感染者数が非常に多くなってきている中で、子ども同士で感染するリスクが高くなっている状況も考えなければならないと思っています。一方で市独自の対応となりますと他自治体と比較して学習の進捗や部活動への影響も出てきますので、

国や県の動向をふまえて対応していきたいと考えております。

並行して小中学校で感染者が出ることも想定する必要がありますので、クラスに罹患した児童生徒が出た場合に濃厚接触者をどのように特定するのか、また、どのような基準で学級閉鎖や学年閉鎖とするのか、その場合にタブレットの活用も含めて学習保障をどうするか、校長会とも連携して検討を進めていきたいと考えております。

(吉本委員)

現在の感染状況を不安に感じている保護者もたくさんいるかと思っておりますので、仮にコロナへの感染が不安で登校しない場合は欠席扱いにならないといったお知らせを早めに周知したほうがいいと思います。高校野球や夏休み中の部活動で感染が広まったという報道もありますので、不安な場合は学校に来なくてもいいよという選択肢があってもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

(関根学校教育部次長)

感染拡大を防止するためにも、体調に変化があった場合は登校を見合わせるということは重要であると考えています。本人だけでなくご家族の中で体調不良の方がいる場合も含めて登校を控えるということをあらためて発信していきたいと思っています。また、感染不安により登校を控える場合は、合理的な理由があれば出席停止の措置ができることが国や県からの通知でも示されております。

(吉本委員)

感染拡大に備えて教育委員会として学校と情報を共有し、必要な事項については保護者にも周知するということが保護者からの信頼につながると思いますので、しっかりと対応していただきたいと思います。

(関根学校教育部次長)

来週から2学期が始まりますので、校長会との検討も含めて決定事項については早急に発信していきたいと考えております。

(寺本委員)

感染拡大により保健所がこれまでほど機能していないことやデルタ株の感染力の強さということもこれまでとは異なります。来週から2学期が始まりますが、今後、各学校で感染者が判明した際に校長と学校医が連携を取って、感染者が判

明した学級分だけでもすぐにPCR検査を実施できる体制になっているのが望ましいと思いますが、そのような準備は行っているのでしょうか。

(肥沼保健給食担当参事)

現在、所沢医師会を通じて学校医に通知を発出することを検討しています。今後、学校医や医師会と相談して効果的な対応ができるよう準備したいと考えております。

(寺本委員)

一番早い学校は8月25日から2学期が始まると思いますので、学校医を中心にすぐに対応できるよう調整をお願いします。

(肥沼保健給食担当参事)

小中学校で感染が判明した場合のPCR検査については、市民医療センターで協力してもらえる方向で調整を進めております。

(寺本委員)

そういった協力体制を進めているという情報が保護者へしっかりと周知されれば安心すると思いますので、教育委員会としても学校や保護者と丁寧に情報共有を図ってほしいと思います。

(宮本委員)

仮に感染が判明して児童生徒が2週間自宅待機となった場合の学習保障はどのように考えているのでしょうか。

(中村教育センター担当参事)

夏季休業中に家庭に持ち帰っているタブレット端末が活用できるため、オンラインミーティングなどのシステムを利用して担任が健康観察や課題を提示するほか、オンラインでの授業を実施することなどを想定しております。

(宮本委員)

私の家庭でも夏休みに子どもが端末を持ち帰ったため、接続の確認をしたりミライシードという学習用ソフトも試してみました。実際にグーグルミートを活用して画面を通じての健康観察やオンライン授業というところまではまだ実施していない学校が多いと思いますので、各学校で早めに予行練習ができればと思います。

(中村教育センター担当参事)

1学期中に学級閉鎖が発生した学校の多くは中学校であり、中学校はタブレットの活用が進んでいたため、すでにグーグルミートを利用したケースもありました。ここで2学期が始まりますので、学級閉鎖等に備えてグーグルミーートの活用方法を早急に習熟できるよう各学校に周知をしていきたいと考えております。

(寺本委員)

グーグルミートについて、例えば36人のクラスがあって、34人まではミーティングに参加できているが、タブレットやシステムの操作方法が分からず残りの2人は接続できていないというケースが生じてくるかと思えます。そのような場合に、学校から教育センターが連絡を受け、教育センターから対象の家庭に連絡あるいは端末にリモートアクセスして操作手順を指示するという事は可能でしょうか。

(徳増教育センター主幹)

技術的には可能ではありますが、教育センターの電話回線がパンクする可能性がありますので、ヘルプデスクの利用も含めて可能な限り学校から対応してもらい、教育センターとしてはしっかりと学校をフォローする体制を取りたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症への対応について(教育総務部・学校教育部)

【非公開】

質疑なし

市内小中学校での事案について(学校教育課)【非公開】

《 削 除 》

県費負担教職員の人事に関する内申にかかる教育長臨時代理について(学校教育課)【非公開】

《 削 除 》

9 議題および報告事項

議案第15号 所沢市教育委員会職員（管理職）の人事異動について
所沢市教育委員会職員（管理職）の人事異動にかかる教育長臨時代理について
（教育総務課）

【非公開】

関連する内容のため、一括して審議

《 削 除 》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

10 その他

今後の日程

- ・教育委員会会議 9月定例会：9月21日（火）
- ・教育委員会会議 10月定例会：10月28日（木）
- ・教育委員会会議 11月定例会：11月16日（火）

11 閉 会 午後3時15分